ソプラノ葬——讃 折井眞琴

宮坂静生

鶯が取りしきりたる殯（かりもがり）

花どきの無限の糸を身にまとひ

出棺まで花の額を子が撫で撫で

だんす・ダンス花懺法講（せんぼうこう）の眞琴仏

懺法講—法華懺法

春は輪舞（ロンド）ひと楽しますために生き

びりびりとソプラノ葬よ甘茶の日

チェロを弾き春高楼を子が捧ぐ

大欅芽ぶきぴんぴんころりと逝き

黄砂降れ降れ早世の父を恋ひ

ロミオとジュリエットのモデルの町イタリア

秋のヴェローナ柢（てい）太郎とて夫が弟子

鞠と弾んで春の銀河に眞琴居る

眞紅（くれない）とて天上へ花筏

鬼女志望さよならあばよ花まみれ

こんな風にエンドロールの花の幕